

日本と東南アジアの 仏教交流

—その史実と展望—

林
行夫
編著

刊行に際して

龍谷大学世界仏教文化研究センター仏教史・真宗史総合研究班は二〇一七年度に「日本と東南アジアの仏教交流」をたちあげた。仏教史、仏教学のほか、東南アジア各地で調査研究に従事してきた地域研究や文化人類学を専門とする参加者をまじえた学際研究である。(中略)

近現代のタイ、カンボジア、ミャンマーを舞台とする日本仏教との関わり、交流の実相、さらに上座仏教の日本での位置づけが明らかにされた。

本巻は、一研究叢書として、従来蓄積が乏しかった南伝仏教と日本との交流をめぐる研究を補うとともに、さらなる資料の発掘をすすめ、従来日本の宗派仏教には遠い存在であった南伝仏教からみて今後の仏教の国家間、地域間比較交流史の展望を描こうとする。

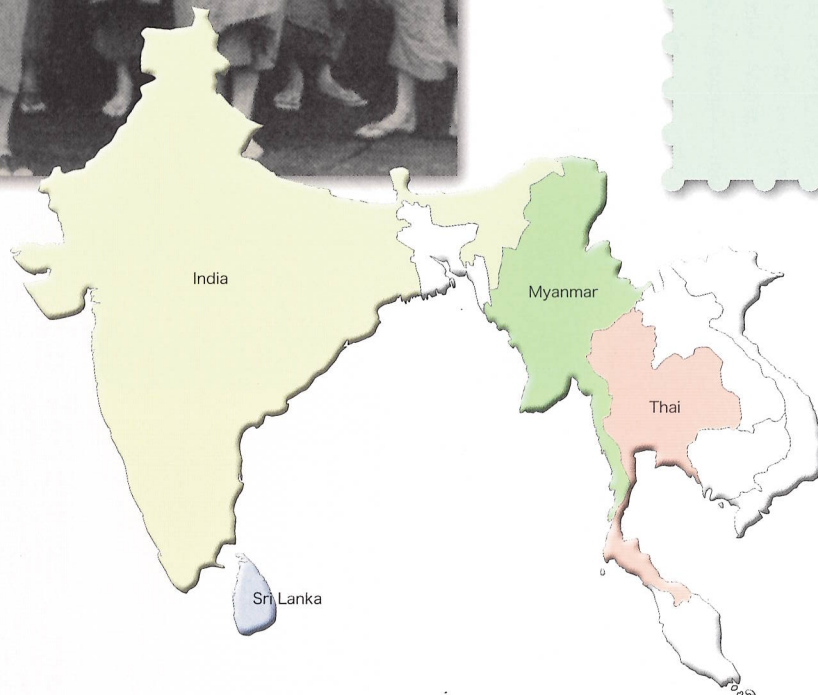
諸事情により、カンボジアをふくむ他地域の報告を納めることができなかった。そのため本書の「東南アジア」はタイとミャンマーに偏ってしまった。研究班の活動の全貌を伝えるものでないことをご容赦いただきたい。

執筆者は四名が現地で一年以上滞在し現地語に精通する。うち三人は地域研究者であるが僧侶の神田英昭はタイで比丘生活を送った。他の四人も短期に東南アジア諸国を訪れている。専門の異なる者どうしで濃淡の差はあれ、地域としての東南アジアを接点にして議論の土俵を築けたと考える。

編者 林行夫の「はしがき」から抜粋



チャー氏と外国人弟子たち



三人社

日本と東南アジアの仏教交流 — その史実と展望 —

◎編著者 林 行夫

◎体裁 A5判・上製・244頁

◎定価 本体5,600円＋税 ISBN978-4-86691-375-9

◎刊行 2022年2月

目次

はしがき

第一章 仏教交流の実装への視座 — タイと日本の関係より

第二章 日本とミャンマーの仏教交流 — 「入竺比丘尼」に見るネイションとジェンダー

第三章 仏教学者の上田天瑞と陸軍中将の牟田口廉也 — インパール作戦の開始前後における会見

第四章 明治期日本人僧侶の暹羅布教

第五章 仏教經典をめぐる日タイ交流の史実と現実

第六章 タイ仏教と日本仏教は対話できるか? — タイ仏教への架け橋になる

第七章 石井米雄と日タイ仏教交流

第八章 仏教の交流、比丘サンガの交流

編集後記

林 行夫

村上忠良

伊東利勝

大澤広嗣

中西直樹

清水洋平

神田英昭

林 行夫

藤本 晃

林 行夫

〈編著者紹介〉

氏名／生年／出生地／職業等／専門領域の順

林 行夫

1955年・大阪府
龍谷大学文学部教授
東南アジア上座仏教徒社会の研究

伊東利勝

1949年・佐賀県
愛知大学名誉教授
ミャンマー社会経済史

大澤広嗣

1976年・岩手県
文化庁宗務課専門職
近現代日本宗教のアジア関与

神田英昭

1976年・東京都
高野山真言宗僧侶
密教学

清水洋平

1973年・京都府
大谷大学真宗総合研究所特別研究員
スリランカ・東南アジア仏教

中西直樹

1961年・三重県
龍谷大学文学部教授
近現代日本仏教史研究

藤本 晃

1962年・山口県
浄土真宗誓教寺住職
パーリ聖典による初期仏教思想の研究

村上忠良

1966年・奈良県
大阪大学大学院言語文化研究科教授
タイ系民族シャンの宗教と文化の研究

関連図書のご案内

龍谷叢書31 中西直樹著

植民地朝鮮と

日本仏教

体裁 A5判・上製・312頁
定価 本体4,800円＋税

龍谷叢書38 中西直樹著

植民地台湾と

日本仏教

体裁 A5判・上製・360頁
定価 本体4,800円＋税

龍谷叢書53

中西直樹・野世英水著

日本仏教アジア

布教の諸相

体裁 A5判・上製・366頁
定価 本体5,000円＋税

仏教国際

ネットワークの源流

— 海外宣教会(1888年～1893年)の光と影 —

著者 中西直樹・吉永進一
体裁 A5判・上製・232頁
定価 本体3,000円＋税

近代本願寺論の展開

著者 中西直樹
体裁 A5判・上製・278頁
定価 本体3,800円＋税

●表示はすべて税別

三人社

〒606-8351
京都市左京区岡崎徳成町29-3 岡崎ミントビル1階
電話075-762-0368
FAX075-762-0369
http://3ninsha.com/

ご注文は書店様または直接上記までお申し込みください。